

【連絡先】

ご意見・ご要望がございましたら、
ご遠慮なくお寄せください。
連絡先 区役所自民党控室
TEL3908-7146
FAX3905-7650
メールアドレス takeda@kita-jimin.jp
ホームページアドレス
<https://hiroshi-takeda.wixsite.com/website/blank-1>

責任ある区政を推進

令和2年12月号

区議会自民党 活動レポート



北区議会議員 竹田 ひろし

自民党を代表し6つの課題について質問

11月定例区議会 竹田ひろし議員の代表質問要旨

プロフィール、令和2年度所属委員会と会派役職

昭和34年1月27日生まれ 北区豊島在住

専修大学商学部卒業

【会派役職・所属委員会】

- ・副幹事長 ・文教子ども委員会副委員長
- ・防災対策特別委員会委員

◆ 新たな基本構想について

竹田ひろし議員 北区では、現行の基本構想が策定から20年以上経過し、新たな基本構想策定に向けてどのような準備やコロナ禍での改定の必要性、期間の見直しなどのお考えをお伺いします。

区長 基本構想は、区の将来像と進むべき方向性を示す、自治体の憲法とも言うべき計画であります。準備については、審議会設置や考えをまとめる庁内ワーキンググループ設置の検討を開始し、策定支援や各種調査のためのコンサルティングを行う事業者の選定にも着手しています。考え方については、現在の基本構想は目標年次を経過しており、社会情勢も大きく変化する中、区の目指すべき新たな将来像、方向性を定める必要があり、また新構想策定後は目標年次にとらわれず、必要に応じて見直ししていく必要があると考えます。

◆ コロナ禍における経営改革・業務改善

竹田議員 コロナの新規感染者数は増加しつつあり、感染予防のための新しい生活様式を模索する中で、区民の新たなニーズに応えていく行財政運営が重要と考えますが、いかがですか。

区長 コロナ禍における経営改革の考え方・進め方ですが、経営改革プラン2020は基本計画実現のため、コロナ禍においても着実に実行していくべきと考えます。新しい生活様式への要請なども踏まえ、行政のデジタル化や業務改革のスピード感ある取り組みが必要と考えています。

竹田議員 デジタル化と押印廃止についてですが、国は「経済財政運営と改革の基本方針2020」の中で、コロナ感染症拡大により浮き彫りになったデジタル化・オンライン化の遅れを指摘し、デジタル庁の創設が公表されましたが、押印の廃止など北区ではどのような方針で取り組んでいきますか。

区長 区民のサービス向上や業務の効率化を図るため、デジタル化の推進、押印の廃止は必要と考えています。押印の廃止は法令の改正や条例改正などの内容、ガイドラインなどの内容を踏まえ対応していきます。

◆ 渋沢栄一プロジェクトの推進とイベントのあり方

竹田議員 コロナ禍での渋沢栄一プロジェクトの取り組みですが、多額の予算をかけず、民間団体や北区観光協会との連携などにより話題性ある取り組みを進めていると感じていま

す。今後の取り組み、区民への更なるPRなど、どのようにお考えですか。

区長 北区渋沢栄一プロジェクトは区独自のみならず、各種団体、深谷市など多様な団体と連携し渋沢翁の精神「官民連携」を積極的に取り込み実践していけると認識しております。今後の取り組みといたしまして大河ドラマのイベントや各種メディアの積極活用によりPRを加速させてまいります。

◆ 学校の教室不足への対応

竹田議員 児童・生徒が増加しており、増築などで対応しているが、大幅な増加を示す、王子、東十条、滝野川、田端小学校の4校の対応が急務であり、検討状況はいかがですか。

教育長 各校の状況ですが、王子小学校は令和6年度までに8学級増加が見込まれ、旧育ち愛ほっと館跡に別棟整備を予定しています。東十条小学校も令和6年までに6学級増加の予定で増築棟の整備を視野に入れ調整中です。滝野川、田端の両小学校は増加が鈍化しており、対策が必要な状況にはないが、非常時にも対応できるよう対策の検討を進めていきます。

◆ 火災発生時の住宅の一時確保について

竹田議員 10月に豊島であったアパートの火災では、居住者数名が住まいを失い、町会などの協力で対応できたが、罹災者が多数などの際、区として宿泊施設などの支援はできないか。また、罹災者を受け入れた町会・自治会に対して、光熱水費など受け入れの際に要した実費相当分を補充するといった取り組みの検討をお願いします。

区長 火災発生時の住宅の一時確保ですが、原則として自助・共助により当面の生活を送っていただきます。対応が難しい場合は町会・自治会館や防災センターでの受け入れを行っております。ただし、今回のように罹災者が多いなど町会などに大きな負担が生じる際は、区が一時的に生活できる場所を提供できるように他の自治体の事例を参考に進めてまいります。また、罹災者を受け入れた町会・自治会などのご負担を、現在15世帯以上の罹災があった場合、援助金を支給する取り扱いですが、支給要件の見直しを検討していきます。

◆ 王子駅周辺のまちづくり

竹田議員 コロナ禍で駅前広場や石神井川、新庁舎など区民へまちづくりの情報が入ってこないと不安の声もあり、区長の描く王子の将来像と実現に向けた決意を伺います。

区長 現在の状況ですが、新たな道路や歩行者ネットワーク、駅の利便性向上などさまざまな観点から検討しています。

コロナ感染症の影響により、まちづくり整備計画は新庁舎の開庁に遅れが生じない範囲でスケジュールを見直し、令和3年度末から令和4年度末へと変更いたしました。

王子駅周辺のまちづくりは区民の皆様の関心の高い事業であり、さまざまなご意見をいただきながら、整備計画を策定し、その実現に向けて力強く取り組み進めてまいります。